

桜友会報

第6号
2011.8.12

昭和女子大学附属昭和小学校同窓会
「桜友会」

〒154-8533

東京都世田谷区太子堂1丁目7番57号

総会・懇親会に新企画

卒業後区切りの年の皆さん集まつて！

毎年秋に桜友会の総会・懇親会を開催してありますが、今年は新しい試みを盛り込みます。

卒業50年、40年、30年、20年、10年を迎えた3回生、13回生、23回生、33回生、43回生の皆さんにとって記念となる会となるような企画を立てていますので、特にこれらの方々のご参加を歓迎します。

2006年に、復活の総会・懇親会を

開いてから5回開催していますが、残念ながら出席される方も固定され、少しずつ減っていく傾向にあります。

せっかくの機会ですので、同窓生の皆さん交流の場として活用していただきたいと思っています。そこで、卒業後10年ごとの記念の年を迎えた卒業生の方に桜友会としてお祝いの気持ちを表す場となるような企画を立てています。

また、懇親会でそれぞれの年次の方の再会の場として、また終了後に同期会やクラス会を開いていただければ幸いです。

対象になっている学年幹事の皆さんは、同期生に積極的に参加を呼びかけていただくようお願いいたします。

13回生の岡野さん

最先端医学の講演

なお、懇親会では、神経科学研究で2009年度紫綬褒章を受章した13回生



の岡野栄之さん（慶應義塾大学医学部教授・慶應義塾大学大学院医学研究科委員長）に「先端医学で難病治療に挑む」の細胞研究最前線」と題してお話していただきます。

フライングディスク 講習会のお知らせ

運動苦手な人でも きつと楽しめます

桜友会では、8回生の師岡文男さん（特定非営利活動法人日本フライングディスク協会会長）の指導によるフライングディスク講習会を初等部の4、5年生を

対象に開催します。

フライングディスクとはプラスチック製の円盤状のディスクのことで、一般にはフリスビーという商品名でよばれています。国際オリンピック委員会が後援する第2の五輪「ワールドゲームズ」の正式競技でもあり、ソフトディスクで行うドッジボール「ドッジビー」は2013年東京国体のデモンストレーションスポーツ行事の種目にも選ばれています。0歳～102歳まで飛距離の世界記録がある誰でも、どこでもできる安全な楽しい3世代スポーツです。スポーツは苦手、という方にもきつと楽しめると思います。

会員とご家族の参加も大歓迎です。在校生と一緒に、新しいスポーツを楽しんでみませんか。

日時 10月9日（日曜日）

午前10時30分～午後0時30分

雨天の場合は10月29日（土曜日）

の同時刻に順延

会場 昭和小学校校庭

参加資格 桜友会会員とご家族

（父母会、在校生も可）

参加費 200円（イベント保険料など）

定員 40人

申し込み方法 9月30日までにメール

o1yu@swu.ac.jp かファクシミリ（03-

3487-6850）に参加者全員のフル

ネーム、性別、年齢、住所、代表者の

連絡先（携帯電話等）を明記してお送り

ください。（定員に達し次第締め切り）

注意事項・当日は運動しやすい服装・

靴でご参加ください。

第6回総会・懇親会9月25日に開催

日時 2011年9月25日（日曜日）

午後0時30分～3時30分

会場 昭和女子大学本部館3階大会議室

会費 一般3000円、

大学生・大学院生2000円、

中学生1000円

（当日、受付でお支払い下さい）

参加申し込み 同封の葉書で。9月10日まで返送をお願いします。

50年間の感謝を込めて

有賀三奈子先生の傘寿を祝つ会 一年一組の会を開く (3回生)

有賀(旧姓 内田) 三奈子先生の傘寿をお祝いする会を、昭和30年入学の3回生1年1組有志12名で開きました。有賀先生は、小学校以来ずっと何かにつけ、励まし続けてくださる私たちにとって、本当にかげがえない恩師です。先生は傘寿とは思えない、あの頃と同じ素敵な



笑顔で若々しく座っていらつしやいました。2011年5月8日(日)、新宿京王プラザホテル2階蒼樹庵に11時頃から集まり、お食事をしながらの楽しいひとときでした。人見楠郎先生と初めてお会いになった時、人見先生が作業衣姿で責任者の方とは見えず、履歷書を渡してよいかどうか迷ったなどと笑い話も交えた懐かしいお話しや、区民講座に関わるなど社会活動でのご活躍の様子をうかがいました。私どもが感激したのは、有賀先生が、長い間、私ども生徒の文集、詩集、先生にお別れのときに差し上げた絵、先生とグループで撮した写真を持つていてくださったことです。とても嬉しく懐かしく、そのすべてをDVDにまとめ、この日の記念品としました。

詩集「ずがのおへや」の最初の頁にある有賀先生の作品。

「…いつか みんなが
わかるだろう。」

ゆたかな たましい、
やさしい ころろ、

そして、

かんがえる あたま、

そこからうまれたうつくしい

『し』が

人のこころをうつことを。」

幼い私たちに「たましいの震えるような思いから詩が生まれる」ことを教えてくださるうとしたお気持ちで今初めて分かり、先生への感謝でいっぱいとなりました。また、最後のページの「お母様方へ」という先生のメッセージか

ら「すべての子供達をたのしく、あいしく」思ってくださいとお気持ちを改めて知り本当に感激しました。この会によって、半世紀以上前、たくさんの励ましと愛情、やさしい微笑を私たちに注いでくださった先生の傘寿を共にお祝いできた喜び、先生への心からの感謝の気持ち

今更けですが、ありがとうございます！

18回生 小園江 園香

三人の娘(現在中高部6年と4年、初等部4年)と、自分自身も初等部でお世話になった事から、ご恩返しに罪滅ぼしかと思いつつ在校生保護者として父母会活動に参加してきました。特にこの三年は執行部を務めさせていただき、様々な行事に関わることでその歴史や先輩役員の活躍、保護者の力の大きさを感じながら、沢山の事を学ばせていただきました。また自分が子どもだった頃、同じように愛情を注いでもらいながら活動がなされていた事に、改めて感動もしました。

私の母も長く役員を務めていたので当時の話を聞くと、印刷はガリ版、コピーは無い、電卓は無い、ファックスは無い、携帯は無い、もちろんパソコンも無い、日々の活動は正に人海戦術！(なるほど！)現在とはかなり環境が違います。でも、大変、大変と言いがら子どもたちの為、結構やりがいを感じて活動をしていたとのことです。(その点は今と似ています。)

ち、そして1年1組の様々な思い出をいつまでも大切にしていきたいと感じています。夕日が美しい頃、有賀先生がこれまで以上にご健康で幸せでいらつしやるように、一同心よりお祈り申し上げます。会はお開きとなりました。

一年一組の会 幹事 大石恵津子

私の小学生時代から変わらない行事に「クリスマス子ども会」があり、一年生の保護者の方が劇や音楽のプレゼントをしてくれます。私が一年生の時の演目は「かさじぞう」。お地蔵様役の母の声がか、でもとても誇らしく感じたことを思い出します。父母会活動は実に様々で、スリッパ洗いや、保護者向けの講習会、会報「しようわ」の編集に、行事毎のお祝菓子・記念品、手作りの誕生プレゼント、昭和祭、謝恩会、どれも親世代から続く、私もやってもらってきた行事ばかり、今さらですが、母にありがとうという気持ちです。

最近、以前のように父母会活動に時間をかけられない環境の保護者の方も多くなりつしやいます。子どもたちへの愛情は変えず、残していくものは継承しながら、でも保護者の負担を軽減し、効率化することが今後一層求められると思います。

(今年度からの父母会長は11回生の大野先輩です。どうぞよろしくお願いします。)

「再建5年にピンポ!!」

昨年の第5回総会では、前回までの「ジャンケン大会」に代わって「ビンゴ大会」で豪華賞品を競いました。

2等は例年通りのデイズニー・パスポートでしたが、1等は最高級の体組成計、3等はバランスボールなど「健康」をテーマにした賞品ラインナップ。人見理事長からのオーストリア土産もあり、熱い闘いとなりました。

恒例通り、1等と2等を獲得した3人に喜びを寄稿していただきました

意外な結果

52回生 ヴインセント 一朔

僕は今までビンゴ、懸賞に当たったという記憶がない。だから今回のビンゴもどうせいちばん下の賞くらいだろうと思っていた。

ダブルリーチになった時は本当に嬉しかった半面、もしかしてこのまあいとも通り、自分のカードに無い数字の連発で終わるかもしれない、と思った矢先に見事に一列揃ってビンゴになった。最初、



同時にビンゴ! ジャンケン勝った

52回生 田口 君歌

わたしは今年の3月に卒業してから約半年がたった9月26日に、初等部同窓会「桜友会」に参加しました。わたしは中高部に進学したので、ほとんどの友達と毎日会うことができませんが、外部に進学した友達には会うことができなかったで、この日をととても楽しみにしていました。

一列揃った時に自分のことだから数字の間違いがあると思って、何度も確認したの間違えていなかった。

前に出て、もう一人いた一位の人とジャンケンをして負けたので、オムロンのカラダスキャンをもらった。こんな高そうなものをもらったのも嬉しかったが、それより一位ということが嬉しかった。家に持ち帰ったら母が目を丸くしてびっくりしていた。そのカラダスキャンを早速つかってみたら、とても高性能だったのでもたまたま驚いた。

「誰とデイズニーへ」の質問 「彼と」と答えたわけは…

21回生 富田 香里

9月26日、桜友会が復活して5回目の総会、懇親会が開催されました。5年前まで初等部には名称だけの同窓会しかありませんでした。卒業以来外部に進学し

今年の同窓会は、企画の方が私たち52回生のために1時間、みんなで軽く食べ物を食べたり、話したりする時間をつくってくれたため、外部の人とも卒業前のように仲良く話すことができました。

今回は昼食が終わった後、みんなでビンゴゲームをやりました。昼食が終わりに近づいてきた頃、賞品一覧表が貼られたのを友だちと見ました。一位は体組成計、二位はデイズニーリゾートペアチケットと書いてあったので、わたしたちは二位がいいなと話していました。わたしはゲームの途中でビンゴになりました



た同級生とはほとんど交流はなく、年を追うごとに寂しく残念に思っていました。私が初等部を卒業し

て26年目丁度5年前の四月、我が家の男女の双子がそろって初等部に入学し、今度は親として久しぶりに母校に帰ってきました。そして5月、すでに母親として先輩になっていた桜友会役員の同級生から同窓会の復活の知らせを聞き、私の念願が二つ同時にかなった気持ちでした。会長、副会長をはじめとする役員の皆様のご尽力に心から感謝しております。

この機会、懇親会では毎年新しい会員を迎えます。この5年間に、我が子たちがお世話になりお慕いしたお兄様、お姉様が立派に活躍されている様子を知る

が、同時に何人もの人がビンゴになり、ジャンケンで二位を決めることになりました。

わたしはジャンケンが弱いので、当たったことに本当にびっくりしました。わたしはデイズニーリゾートの中でも特にランドが好きなので、今回頂いたチケットを使って、4才のころから仲良くしている友だちや妹とデイズニーランドに行こうと思います。今回の桜友会は、とても楽しかったです。また来年も参加したいです。

ことが出来ました。また、懐かしい先生や各方面で活躍されていらっしゃる先輩方の貴重なお話が伺えることを楽しみにしています。

毎年行われる大抽選会も楽しみの一つです。今年はビンゴ大会が行われ、私と52回生で息子の憧れの先輩であるヴィンセント君とで一番「ビンゴ!」を分かち、デイズニーペアパスポートを頂戴しました。

「どなたと行きますか?」
との司会の師岡様からの質問に

「彼と…」
とお答えしました。

子どもたちの成長とともに主人とは子どもの教育や進路の話で険悪になることが多くなり、落ち着いて話すことはお互い歯科医として仕事の話をするくらいになつてきました。休みも段々それぞれの予定で削られていきます。家族でデイズニーなんて聞いたたら、主人より子どもたちが大喜びするでしょう。

東明学林みかん狩り始末記

第20回 山口俊行

昨年12月12日に恒例となりました東明学林へのみかん狩りに参加させていただきました。同期生家族との再会を心待ちとした当日、残念ながら諸事情によりそれは適いませんでしたが、顔なじみの諸先輩及びそのご家族の皆様とご一緒させていただいて、充実したみかん狩り親睦会と相成りました。

天候にも恵まれ、左正面に広がる富士山の雄姿を拝みつつ「山」へ向かいまし



た。見ると今年もたわわに。天候の関係でいささか不作である旨の説明はほぼ上の空。「木」によってみかんの味が違うことは昨年学習済みなので、各自勇んで散つてゆくさまはまさに蜘蛛の子おつと失礼！。一時間も経たずに各自の籠は持ち上がらない程になりました。

皆様と四方山話の末みかん山を後にしようかと、ふと見ると子供達の姿がありません。どうやら彼ら彼女らにとつて、みかん狩りはさておき広大な敷地のほうがより魅力的な様で、持参したボールを蹴りながら、脇のコートへ消えてゆきました。

子供達の体力は尽きることなくかつまだまだ陽も天頂近くではありませんでしたが、勝手に学寮を占拠し続けるわけにもゆかず、名残惜しくも東明学林を後にしました。今年は、東明学林でとれた見事な干し椎茸を少額で分けていただくという特典



もありました。

会長をはじめ寮長先生等、準備頂いた皆様に感謝申し上げます。

歩きつかれたが充実の半日 美術館めぐり建築散歩

桜友会初の文化行事として企画された、「建築散歩」六本木アートトライアングル巡りが、昨年11月27日の土曜日に行われた。当初は10月30日に予定していたが、季節外れの台風接近で延期されていた。

ここ数年に新しくできたり建替えられた六本木周辺の四つの美術館を著名な建築家の設計による個性的な建物を、1回生の渋谷一彦さん（建築家）の案内で歩こうという企画。

昼過ぎに南青山の根津美術館に集合した参加者9人は、紅葉が見ごろの庭園を散策したあと、前年にオープンしたばかりの新展示棟を見学。青山墓地を眼下にみながら六本木の国立立美術館へ。さらに、ミッドタウンガーデン内の「21_21 DESIGN SIGHT」そして六本木ヒルズ53階の森美術館と歩いた。

各美術館では、渋谷さんから設計者の狙い、建物の構造などについて専門的な解説を受け、単なる美術館めぐりとは一味違ったものとなった。

番外編で、渋谷さんが設計にかかわった六本木ヒルズ住宅棟の足元周りを苦労話を聞きながら散策して、解散した。歩き疲れたけれど充実した秋の半日を楽しんだ。



文化・レクリエーションの アイデアをお寄せ下さい

桜友会の会則では、「卒業生の親和・向上・連絡を図り、あわせて母校の発展に寄与すること」を目的と定め、そのための活動のひとつとして「会員の生涯学習や親睦に関する活動」を挙げています。

その一環としてこれまで、「みかん狩り」と「建築散歩」を実施し、また今年10月には母校への貢献の一環を会員の親睦を兼ねてフライングディスク講習会を予定しています。

建築散歩は、文化散歩シリーズの第一弾として行いました。今後も、案内人は会員のボランティアを基本に続けて行く方針です。

さまざまな分野で企画が可能ですが、自分で案内人として企画を立てていただける方がいらしたら、ぜひ事務局までご提案下さい。そのほかの、文化・レクリエーション活動へのアイデアも歓迎します。

2010年3月から2011年10月までの1年7カ月、主人の転勤に伴い南米チリで生活していましたが、このたび出産のため、私一人日本に帰国しました。大地震や鉱山の落盤事故でよく知られるようになったチリでの生活について、少しご紹介させていただきます。

チリは南米大陸の中で太平洋に面している南北に細長い国です。私たちが住んでいたオソルノという街は、首都サンティアゴから飛行機でさらに1時間半南下したロス・ラゴス州の中規模都市です。小さいながら空港もあり、大きなスー

パーマーケットも数軒あって、生活しやすい街でした。南半球なので四季は日本と正反対。年間平均気温は5〜15℃と肌寒く、雨季の4〜7月は毎日雨が曇り空。雨に濡れても平気なレインジャケットが必須の生活でした。

結婚と同時に地球の裏側にあるチリへ行くことになり、初めは「不安」の二文字しか頭にありませんでした。スペイン語も話せない私が、日本人が主人の会社の家族しかいない街でどうやって生活していくのか。新米夫婦の健闘が始まりました。

まず自分たちの住むマンションを採

いることが多く、まな板に乗りきらない大きなサーモンの半身を小分けにして冷凍していました。週末には郊外で開かれている「フェリア」という青空市場へ新鮮食品を買い出しに出かけました。特に魚は鮮度の良いものが手に入り、お願ひすると頭を取って小分けにしてくれるので重宝しました。

休日には車でよくドライブをしました。街から一步出たらすぐに出会える牛や羊や馬が都会育ちの私には珍しく、自然あふれる雄大な風景に感動したものです。富士山にそっくりの「オソルノ山」の麓には滝や南米一大きな湖があり、アウトドア好きの友人はカヤックや釣りを

南米チリでの生活

34回生 伊牟田晶子(旧姓・小玉)

楽しんでいました。

連休には近隣の地域を旅行しました。火山の麓にある街「ブコン」には数多くの温泉があり、のんびりと休日を過ごすことができます。また、陸路で国境を越えて、「南米のスイス」とも呼ばれるアルゼンチンの観光地「バリローチェ」へよく行きました。湖に面したこの街は、美しい景色もさることながら、美味しいアルゼンチン牛や海老・魚介類などを食べることができると、私たちのお気に入りの街でした。

チリ滞在中、一番行つて良かったと思った場所は、チリ・アルゼンチン南部

目の前で何億年もの年月を経た氷の塊が音を立てて崩れおちる様は、大迫力でした。チリのパイン国立公園では、切り立った岩山「トーレス・デル・バイネ」をバックに、湖で水浴びをするチリフラミンゴを見ることができました。パタゴニアの空と湖の青と、フラミンゴのピンク色のコントラストに声を失い、自然の美しさと雄大さに感動して涙が出していました。

私は行く機会がありませんでしたが、北部のアタカマ砂漠やイースター島のモアイ像など、チリには魅力的な場所がまだまだたくさんあります。日本からだて飛行機で30時間近くかかり、とても気軽に行かれる国ではありませんが、ぜひ皆さんにもチリのことをもっと知っていただきたいと思います。また、私自身も、いつの日かこの思い出の地を家族で再訪できるように願っています。



再会の喜び

50 回生

中村優希

4月29日、昨年に続き、今年も初等部で学年の同窓会を行いました。東日本を大地震が襲い、社会の不安と混乱が続いていた中での開催でしたが、同級生やお世話になった先生方と再会して、その喜びを一層強く感じました。

当日は60人近くの同期生が集い、休日の静かな校舎は、私たちのおしゃべりや思い出話、ドッジボールによって、小学



桜友会へのご連絡は メールが便利です

桜友会事務局には常駐者がおりませんので、お電話いただいても対応できないことがあります。お問い合わせは電子メールまたはファクシミリでお願いします。特に電子メールは役員に転送されますので、すばやいお返事が可能です。

連絡先番号は次の通りです

E-MAIL ohyu@swu.ac.jp
ファクシミリ 03-0487-6850
電話 03-3411-5123
(学園本部総務部)

ホームページもご覧ください

桜友会からのお知らせは、ホームページにも掲載しています。

http://www.es.swu.ac.jp/es_graduate.php

会費納入・寄付のお願い

本年度(2011年度)会費の納入をお願いします。年会費は2000円、複数年まとめてお支払いいただくこともできます。

校の賑やかな活気に満ちあふれました。また、最後には筒井星子先生(現姓・佐藤)のご結婚祝いサプライズを全員の協力で行い、同窓会は幕を閉じました。卒業して4年。皆、小学生のころとは大きく変わり、高校生という忙しい毎日を、それぞれの場所で充実させているようです。私にとって、昭和で共に過ごした仲間と共有した時間は、心の拠り所であり、かけがえのないものとして生き続けています。会う機会はほとんどありませんが、確かに存在する昭和っ子の絆を大切にしていきたいと思っています。

桜友会の活動は全て会費と寄付でまかなわれています。活動を活発化させるためにも、財政的な裏づけが必要です。ご協力をお願いします。

郵便振替用紙を同封しておりますのでご利用ください。お名前、住所のほか会員番号も記入してください。手数料はご負担をお願いいたします。(会員番号は送りした封筒宛名の下にあるEのあとに続く9桁の数字です)。

事務作業簡略化のためにすでに今年度分を納めていただいている方にも、振替用紙を同封しておりますのでご了承ください。

なお、以前に複数年を納入いただいた方で、納入状況が不明な場合は、事務局までお問い合わせ下さい。(問い合わせ先は左記)

また、桜友会の活動のためのご寄付をいただけると幸いです。こちらも同封の振り替え用紙でお願いします。

平成22年度(2010)会計報告

収 入		支 出	
前年度繰越金	4,842,640		
年会費	1,169,000	会報費	1,153,983
53 回生入会金	840,000	総会費	653,273
総会 / 懇親会参加費	325,200	幹事会	8,825
総会 / お祝い金	30,000	事業費 (建築散歩)	8,000
その他、雑費	1,216	慶弔費	32,235
銀行 利息	2,660	会議費	13,930
計	2,368,076		1,870,246
		来年度繰越金	5,340,470
合計	7,210,716		7,210,716

平成22年度(2010)預金残高

みずほ銀行	1,695,598
ゆうちょ銀行	3,634,872
ゆうちょ銀行 為替口座	10,000
合計	5,340,470